

## 令和6年度受験案内

# 福島県職員（大学卒程度（先行実施枠））採用候補者試験

福島県人事委員会

### 先行実施枠試験のポイント

- ・ 第1次試験を4月に実施し、6月に最終合格が決まります。
- ・ 特別な公務員試験対策を行っていない方でも受験しやすい試験内容です。  
第1次試験では、民間企業等の採用選考でも使用されている「基礎能力検査（SPI3）」を実施します。
- ・ 第1次試験を福島・東京の2会場で実施します。

※ この先行実施枠試験と6月実施予定の大学卒程度採用候補者試験とは併願が可能です。

#### 〔昨年度からの変更点〕

- 区分試験（職種）に「**行政事務**」を新設します。
- 第1次試験を東京会場でも実施します。
- 区分試験「土木」の専門性確認シートの作成方法について、第1次試験当日に記述する方式から、提出する方式に変更します。

受付期間 3月1日（金）～3月21日（木）  
第1次試験日 4月14日（日）

災害の発生等、やむを得ない事情により試験の日時や会場等を変更する場合、又はその他緊急の連絡をする場合は、福島県人事委員会のホームページでお知らせします。  
(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/saiyou/>)



## 1 区分試験（職種）、採用予定人員及び職務内容等

区分試験 (職種)	採用予定 人員	主な職務内容等
行政事務	20名程度	知事部局、教育委員会等の本庁又は出先機関等において、各種施策の企画立案や事業推進、庶務・経理、県税の賦課徴収等の警察事務以外の一般行政の事務に従事します。
土木	11名程度	土木部等の本庁又は出先機関等において、道路・河川・港湾・空港等の整備に関する工事の設計・監督、維持管理、都市計画等の業務に従事します。

- ※ 採用予定人員については募集時点での予定であり、今後変更になることがあります。
- ※ 複数の区分試験（職種）を申し込むことはできませんので、どちらか1つを選択して受験の申込みをしてください。
- ※ 6月16日（日）に実施予定の福島県職員（大学卒程度）採用候補者試験と試験内容が異なりますが、採用後の職務内容及び勤務条件に差異はありません。

## 2 受験資格

区分試験 (職種)	受験資格
行政事務	次のいずれかに該当する人 1 平成7年(1995年)4月2日から平成15年(2003年)4月1日までに生まれた人 2 平成15年(2003年)4月2日以降に生まれた人で、次のいずれかに該当する人 (1) 大学を卒業した人又は令和7年3月末日までに卒業見込の人 (2) 人事委員会が(1)に該当する人と同等の資格があると認める人
土木	平成元年(1989年)4月2日以降に生まれた人で、次のいずれかに該当する人 1 大学において土木に関する専門課程(※)を修めて卒業した人で、令和6年4月1日において大学を卒業又は大学院を修了した日の翌日から起算して5年を経過していない人(平成31年4月1日以降に卒業(修了)した人が該当します。) 2 大学において土木に関する専門課程(※)を修めて令和7年3月末日までに卒業見込みの人 3 人事委員会が1又は2に該当する人と同等の資格があると認める人  ※ 「土木に関する専門課程」とは、土木施工管理技術検定の受験資格が取得可能な指定学科のうち、土木職の業務に直接関連する学科を指します。詳しくは、福島県人事委員会のホームページで御確認ください。 ※ 受験資格の有無を確認するため、受験申込の受理審査をする段階で大学の科目履修履歴(成績証明書等)の提出を求める場合があります。 ※ 令和7年3月末日までに大学を卒業できなかった場合には、採用されません。

● 次のいずれかに該当する人は受験できません。

- 日本の国籍を有しない人
- 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
- 福島県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人
- 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

## 3 試験日時、試験場及び合格者発表

試験	日	時	試験場	合格者発表日
第一次試験	令和6年4月14日(日)		福島会場	令和6年4月24日(水)
		行政事務		
	受付	12:00~13:00		
	基礎能力検査	13:30~14:40		
	適性検査		15:00~15:40	
	論文試験	15:00~16:00	東京会場 池袋キャンパス 本館	

試験		日	時	試験場	合格者発表日
第2次試験	行政事務	(第1回)	令和6年5月9日(木)～14日(火) のうち指定する1日 適性検査及び口述試験(個別面接(第1回) (プレゼンテーションを含む))を実施します。	福島県庁 (予定)	令和6年6月12日(水)
		(第2回)	令和6年5月27日(月)～29日(水) のうち指定する1日 口述試験(集団討論及び個別面接(第2回))を実施します。		
	※ 第1回及び第2回の両日とも受験する必要があります。				
	土木	令和6年5月15日(水)～17日(金) のうち指定する1日 適性検査及び口述試験を行います。			
口述試験		専門性確認のための個別面接 人物評価に係る個別面接			

※ 第2次試験の日程については、第1次試験の合格通知の際にお知らせします。

※ 指定された日程の変更はできません。

合格者発表は、福島県庁前掲示場に合格者の受験番号を掲示するほか、合格者に文書で通知します。

また、福島県人事委員会のホームページにも合格者の受験番号を掲載します。

なお、第1次試験、第2次試験とも不合格者に対しては通知しません。

## 4 試験種目及び内容

### (1) 行政事務

受験申込時の提出書類	アピールシート (提出方法等は、4ページ「5 事前作成書類について」をご覧ください。)
------------	--

試験	試験種目	内容
第1次試験	基礎能力検査(SPI3)	言語的能力、数的処理能力、論理的思考力についての多肢選択式による筆記試験
	論文試験	職員として必要な論理性、表現力等についての記述式による筆記試験 ※800字以内
第2次試験	口述試験	第一回 これまでの活動や経験についての自己PR等を基に職員としての素質を見る個別面接(プレゼンテーションを含む)
		第二回 グループの中での指導力や協調性等を見る集団討論及びこれまでの活動や経験についての自己PR等を基に職員としての素質を見る個別面接
	適性検査	業務遂行に必要な適性についての検査

※ 論文試験は第1次試験で実施しますが、評価は第2次試験で行います。

## (2) 土木

第1次試験当日の 提出書類	専門性確認シート (提出方法等は、「5 事前作成書類について」をご覧ください。)
	大学等で土木に関する課程を履修したことが分かる科目履修履歴(成績証明書等) ※ 学部長の印影があるものに限り。 (成績通知書は不可。) ※ 第2次試験の口述試験の参考とします。

試験	試験種目	内 容
第1次試験	基礎能力検査 (SPI3)	言語的能力、数的処理能力、論理的思考力についての多肢選択式による筆記試験
	適性検査	業務遂行に必要な適性についての検査
第1次試験	口述試験	専門性確認のための個別面接 これまで学んできた土木技術者として必要な専門的知識などに着目して職員としての資質を見る個別面接(プレゼンテーションを含む。)
		人物評価に係る個別面接 学業、サークル活動、ボランティアなどの社会貢献活動をはじめとした幅広い経験などに着目して職員としての素質を見る個別面接
	適性検査	業務遂行に必要な適性についての検査

## 5 事前作成書類について

	アピールシート	専門性確認シート
区分試験	行政事務	土木
作成方法	福島県人事委員会ホームページ ( <a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/saiyou/daisotu-senkou.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/saiyou/daisotu-senkou.html</a> ) に掲載されている様式に入力してください。 なお、入力にあたっては、様式内の「作成上の注意」をよく読んでください。	
提出方法	受験申込時に電子申請に添付して提出	第1次試験当日に、A4片面印刷して提出
評価方法	第2次試験の個別面接の参考とします。 個別面接(第1回)において、提出したシートに基づき3分程度のプレゼンテーションを行っていただきます。	第2次試験の専門性確認のための個別面接の参考とします。専門性確認のための個別面接において、提出したシートに基づき3分程度のプレゼンテーションを行っていただきます。
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出がない場合、第1次試験を受験できません。</li> <li>提出した書類の返却は行いません。また、提出後の書類の差し替えは認めません。</li> </ul>	

## 6 試験種目ごとの配点

### (1) 行政事務

試験種目	第1次試験	第2次試験		
	基礎能力検査	論文試験	口述試験	適性検査
配点	100	30	270	(適否)

### (2) 土木

試験種目	第1次試験	第2次試験	
	基礎能力検査	口述試験	適性検査
配点	100	260	(適否)

※ 第2次試験の適性検査については、適か否の判定となり、得点化の対象とはなりません。

## 7 得点化の方法

### ● 第1次試験

基礎能力検査の採点方法

基礎能力検査については、粗点（正答数）をそのまま用いるのではなく、平均点及び標準偏差等を用いて算出した標準点を用います。

### ● 第2次試験

#### (1) 論文試験【行政事務のみ】

3名の評定者の得点を合計します。

#### (2) 口述試験

5名の評定者の得点を合計します。

#### (3) 適性検査

得点化する試験種目ではなく、一定の職務適性があるかどうかを検査する試験です。

## 8 合格者の決定方法

第1次試験合格者は、基礎能力検査の得点の高い順に決定されます。

第2次試験は第1次試験合格者に対して行い、最終合格者は第2次試験の得点の高い順に決定され、第1次試験の試験結果は反映されません。

ただし、それぞれの試験において一定の基準に達しない試験種目が一つでもある場合には、他の試験種目の成績にかかわらず不合格となります。

## 9 受験手続

○ 受験申込は、原則インターネットによる申込み（電子申請）のみです。

<p>手 順 ① 利用 者 登 録</p>	<p>福島県ホームページの「<b>ふくしま縣市町村共同電子申請システム</b>」にアクセスし、<b>利用者登録（ID・パスワードの取得）</b>を行ってください。 (<a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11045a/denshi-shinsei-dantai.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11045a/denshi-shinsei-dantai.html</a>)</p>  <p>※ 初めてインターネットで受験申込を行う際は、必ず事前に利用者登録を行ってください。 ※ <b>利用者登録だけでは受験申込は完了しません。</b>必ず、受付期間内に「<b>手順②受験申込</b>」の手続きを行ってください。</p>
<p>手 順 ② 受 験 申 込</p>	<p>受付期間内に「<b>ふくしま縣市町村共同電子申請システム</b>」に再度アクセスし、「<b>【採用試験】福島県職員（大学卒程度（先行実施枠））採用候補者試験受験申込</b>」を選択し、10ページの電子申請要領を参照のうえ、申込データの入力・送信を行ってください。</p> <p><b>【行政事務のみ】</b>アピールシートは、福島県人事委員会ホームページより様式（Word形式）をダウンロードし、必要事項を入力の上、申込み時に電子データを添付してください。</p> <p>※ 申込データを送信後、登録したメールアドレスに申込完了のメールが即時送信されます。メールが送信されない場合や、システムの操作、利用者登録等で御不明な点がありましたら、「<b>福島県企画調整部デジタル変革課</b>」（TEL024-521-7136）までお問い合わせください。 ※ その他のお問い合わせは当事務局（TEL024-521-7590）まで御連絡ください。</p>
<p>受 付 期 間</p>	<p><b>令和6年3月1日（金）から令和6年3月21日（木）まで</b> (ただし、最終日は午後5時15分までの受付となります。)</p> <p>受付期間内に正常に到達したものを有効な申込みとします。メンテナンス、通信機器障害等によりシステムが停止した場合にあっても同様ですので、十分余裕をもって申込みを行ってください。</p>
<p>受 験 票 の 作 成</p>	<p>① 申込受付期間終了後2週間程度で、登録したメールアドレスに審査完了のメールが送信されますので、「<b>福島県人事委員会のホームページ</b>」にアクセスし、受験票をダウンロードしてください。 ※ 試験日の1週間前までに審査完了のメールが届かない場合は、当事務局（TEL024-521-7590）までお問い合わせください。</p> <p>② ダウンロードした受験票を印刷し、受験番号一覧表で必ず受験番号を確認のうえ、所定の事項を記入して写真を貼り、試験日当日に持参してください。</p>

※ 入力された個人情報は、採用試験及び採用事務の目的以外には使用しません。

## 10 受験の際の注意事項

<p>第1次試験 当日に持参 するもの</p>	<p>① 受験票（最近3か月以内に撮影した本人の<b>写真</b>（縦4cm×横3cm、上半身、脱帽、正面向）を所定の欄に貼ってください。）</p> <p>② 【土木のみ】<b>大学の科目履修履歴（成績証明書等）</b> ※学部長等の印影があるものに限る。（成績通知書は不可。）</p> <p>③ 【土木のみ】<b>専門性確認シート</b>（福島県人事委員会ホームページより様式（Word形式）をダウンロードし、必要事項を入力の上、A4片面印刷すること）</p> <p>④ <b>鉛筆（HBに限る。シャープペンシルは読み取れないことがあります。）</b></p> <p>⑤ <b>プラスチック消しゴム</b></p> <p>※ 【土木のみ】②、③の提出がない場合は、第1次試験を受験できません。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 試験場に到着したら、必ず受付時間内に受付を行い、係員の指示に従ってください。 ※ 受験票を忘れた場合には、係員に申し出てください。その際、本人と証明できるものを提示してください。</p> <p>○ 受験票は試験時間内に回収しますので、受験番号を控えておいてください。</p> <p>○ 障がい等により受験に際し配慮を希望する場合は、申込期間内に当事務局（TEL024-521-7590）まで御連絡ください。</p> <p>○ 試験中は計時以外の機能がある時計（スマートウォッチ等）の使用を禁止します。</p> <p>○ 試験当日は試験場に駐車できません。公共交通機関を御利用ください。 また、交通の妨げとなりますので、試験場周辺での駐停車による送迎は行わないでください。</p>

## 11 勤務条件等

### (1) 給与

- 令和6年4月1日現在の大学新卒者の初任給の基準は207,100円となっており、上位の学歴や採用前に職歴を有する場合には、一定の基準により額が加算されます。
- 扶養手当、住居手当、通勤手当、超過勤務（残業）手当、期末・勤勉手当（ボーナス）などが、それぞれの支給要件に応じて支給されます。
- 人事委員会の勧告に基づいて給与改定が行われます。

### (2) 勤務時間・休暇

- 勤務時間は、原則として月～金曜日の8:30～17:15（休憩1時間を含む）で、土日、祝日及び年末年始の閉庁日は休日となります。  
※ 勤務場所により異なる場合があります。
- 時間外勤務を命じる場合があります（超過勤務手当が支給されます）。
- 年次有給休暇（年間20日間、繰り越しにより最大40日間）のほか、夏季、結婚、出産、病気、子育て・家族看護、介護、ボランティアなどを事由とする休暇があります。

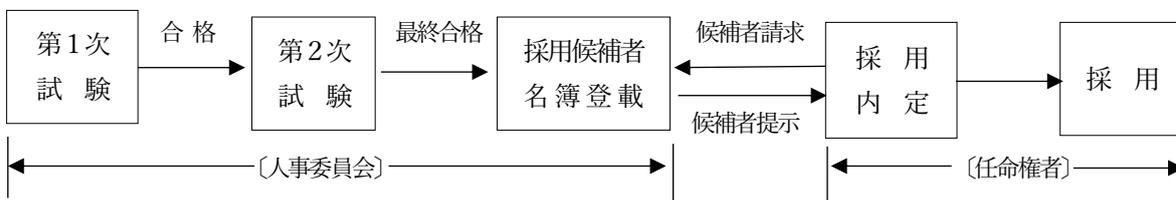
### (3) 福利厚生

- 地方公務員等共済組合法の規定に基づき健康保険及び厚生年金の給付を、地方公務員災害補償法の規定に基づき公務災害補償を、それぞれ行います。
- 共済・共助制度により、病気・けが・出産時の助成、結婚・子どもの入学時の祝い金などの給付のほか、住宅資金等の貸付も行っています。  
※ 職員は共済組合・共助会に加入し、掛金は給与から控除されます。
- 県内各地に職員公舎があり、一定の条件により入居できます。

- (4) 勤務先
- 本庁又は県内外の出先機関に配属されます。
  - 本庁及び県内外全ての出先機関に異動となる可能性があります。
    - ※ テレワークに関する制度があります。
    - ※ 他の行政機関や団体等に派遣される場合があります。
- (5) 従事すべき業務の範囲
- 福島県における全ての業務に従事する可能性があります(職種ごとの主な職務内容等については1ページをご覧ください)。
- (6) その他
- 受動喫煙を防止するための措置として、敷地内禁煙(屋外に喫煙場所設置の場合あり)を行っています。

## 12 合格から採用まで

- 合格者は、区分試験(職種)ごとに採用候補者名簿へ成績順に登載されます。
- 人事委員会は、任命権者である知事、教育委員会等からの請求により、採用候補者を成績順に提示します。
- 任命権者は、採用候補者の中から、順次採用者を決定します。
- 採用候補者名簿に登載されても、欠員等の関係から採用されないこともあります。
- 採用は、原則として令和7年4月1日となります。  
ただし、欠員状況等により、本人の意向を確認のうえ、令和7年4月1日以前に採用される場合もあります。  
(試用期間は6か月です。)



## 13 試験結果(成績)の提供

この試験の結果(成績)については、下記のとおり閲覧の方法により、受験者本人へ提供します。受験者本人であることを明らかにする書類(運転免許証、学生証、旅券等)を持参のうえ、**受験者本人が直接下記提供場所へおいでください。**

試験	対象者	提供内容	提供期間	提供場所
第1次試験	第1次試験不合格者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎能力検査の得点及び適否</li> <li>・第1次試験の順位</li> </ul>	合格者発表日から1か月間	福島市杉妻町2-16 (福島県庁西庁舎4階) <b>福島県人事委員会事務局</b> 利用時間(平日のみ) 9:00～12:00 13:00～17:00
第2次試験	第2次試験受験者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1次試験の結果</li> <li>・第2次試験の合計得点(行政事務のみ)</li> <li>・論文試験の得点及び適否(行政事務のみ)</li> <li>・口述試験の得点及び適否</li> <li>・適性検査の適否</li> <li>・総合順位</li> </ul>		

※ 適否とは、試験種目ごとの基準に達していたかどうかを表します。

※ 基準に達しない試験種目がある場合には、総合順位が見つからないことがあります。

《福島県が求める人物像》

- 仕事や自らの行動の向こう側には「いつも県民がいる」ことを意識できる人  
…県民全体の奉仕者であることに誇りと自覚を持ち、誰のために、何のために仕事をするのかを常に意識することができる人を求めています。
- 失敗を恐れずにチャレンジできる人  
…福島県は東日本大震災からの復興の途上にあり、さらには、地方創生の推進にも全力で取り組まなければなりません。山積する課題や幅広い業務に果敢にチャレンジし、自ら成長し続ける意欲と行動力を持った人を求めています。
- よく聴き、よく考え、わかりやすく伝えることができる人  
…県職員の仕事は幅広く、常に組織内外との連携や調整が必要です。多様な価値観を持った人々と誠実にコミュニケーションを取ることができる人を求めています。
- そして何より、福島県をより良くしたいという熱い思いのある人

## 電子申請要領

- 1 区分試験（職種） 受験を希望する区分試験（職種）名を選択してください。
- 2 受験希望地 第1次試験の受験希望地を選択してください。  
※ 会場の収容人数を超える場合は、希望どおりの受験地とならない場合があります。  
この場合、先着順に決定します。
- 3 氏名（漢字） 全角で入力し、氏と名の間に全角スペースを入れてください。（例）福島 次郎
- 4 氏名（フリガナ） 全角で入力し、氏と名の間に全角スペースを入れてください。（例）フクシマ ジロウ
- 5 性別 男性は「1」、女性は「2」、回答しない場合は「3」を選択してください。  
※ 性別については、統計のために回答をお願いするものです。
- 6 生年月日 年号は、「H」を選択し、年月日はそれぞれ2桁の数字で入力してください。  
（「年」の例）平成15年生まれの場合→「15」を入力
- 7 書類送付先 **確実に第2次試験通知等を受け取ることができる住所を入力してください。**  
郵便番号、住所、建物名・部屋番号をそれぞれ入力してください。  
（例）「福島県福島市杉妻町3丁目2番16号 杉妻アパート201号室」の場合  
→住所は「福島県福島市杉妻町3丁目2番16号」を入力  
→建物名・部屋番号は「杉妻アパート201」を入力
- 8 電話番号 日中に連絡のとれる携帯電話番号（無い場合は自宅電話）を入力してください。
- 9 申請者の住所 書類送付先と異なる場合のみ入力してください。同じ場合は入力不要です。郵便番号、住所、建物名・部屋番号、電話番号を入力してください。
- 10 学歴 義務教育終了後から最終の学校又は現在在学している学校までについて、順に入力してください。  
・学校名・学部名・学科名・コース名・修学期間を入力してください。  
・修学区分は下表により該当するものを選択してください。

卒業	申込みの時点で卒業している場合
卒業見込	令和7年3月末日までに卒業する見込みの場合
在学中	令和7年3月末日までに卒業する見込みのない場合
中退	申込みの時点で中退している場合

  
・修学区分において「在学中」又は「中退」を選択した場合には、その学年を入力してください。
- 11 最終学歴コード（学校名） 最終の学校又は現在在学中の学校の番号（4桁の数字）を別表1（11ページ）から入力してください。
- 12 最終学部コード（学部・学科名） 最終の学校又は現在在学中の学校の学部又は学科の番号（3桁の数字）を別表2（11ページ）から入力してください。
- 13 確認 受験案内に掲載のある受験資格をすべて満たしており、また、この受験申込に入力した内容がすべて事実と相違ないか確認し、「はい」を選択してください。  
※ 入力した内容に虚偽があることが判明した場合は採用されません。

別表1 学校コード番号表

<b>◆大 学</b>	東京海洋大	1030	神奈川大	1208	創価大	1239	日本大	1270	
<b>◎福島県内</b>	お茶の水女子大	1031	神田外語大	1209	大正大	1240	日本工業大	1271	
福島大	1001	一橋大	1032	関東学院大	1210	大東文化大	1241	日本社会事業大	1272
会津大	1002	横浜国立大	1033	関東学園大	1211	高千穂大	1242	日本女子体育大	1273
医療創生大		新潟大	1034	北里大	1212	拓殖大	1243	日本女子大	1274
(いわき明星大)	1003	長岡技術科学大	1035	共立女子大	1213	千葉工業大	1244	日本体育大	1275
奥羽大	1004			慶應義塾大	1214	千葉商科大	1245	日本文化大	1276
郡山女子大	1005	<b>◎公立大学</b>		工学院大	1215	中央大	1246	二松學舎大	1277
東日本国際大	1006	釧路公立大	1101	國學院大	1216	中央学院大	1247	ノースアジア大	1278
福島学院大	1007	青森公立大	1102	国際武道大	1217	津田塾大	1248	白鷗大	1279
		岩手県立大	1103	国士舘大	1218	帝京大	1249	八戸工業大	1280
<b>◎国立大学</b>		宮城大	1104	駒澤大	1219	帝京平成大	1250	富士大	1281
北海道大	1011	秋田県立大	1105	埼玉学園大	1220	東海大	1251	文教大	1282
北見工業大	1012	国際教養大	1106	埼玉工業大	1221	東京家政大	1252	法政大	1283
弘前大	1013	山形県立米沢栄養大	1107	札幌学院大	1222	東京経済大	1253	北海学園大	1284
岩手大	1014	群馬県立女子大	1108	産業能率大	1223	東京工科大	1254	宮城学院女子大	1285
東北大	1015	高崎経済大	1109	実践女子大	1224	東京国際大	1255	武蔵大	1286
宮城教育大	1016	前橋工科大	1110	淑徳大	1225	東京女子大	1256	武蔵野大	1287
秋田大	1017	東京都立大		尚絅学院大	1226	東京電機大	1257	明治大	1288
山形大	1018	(首都大東京)	1111	城西大	1227	東京都市大	1258	明治学院大	1289
茨城大	1019	横浜市立大	1112	城西国際大	1228	東京農業大	1259	明星大	1290
筑波大	1020	新潟県立大	1113	上智大	1229	東京理科大	1260	盛岡大	1291
宇都宮大	1021			上武大	1230	東北学院大	1261	酪農学園大	1292
群馬大	1022	<b>◎私立大学</b>		昭和女子大	1231	東北公益文科大	1262	立教大	1293
埼玉大	1023	青山学院大	1201	女子栄養大	1232	東北工業大	1263	立正大	1294
千葉大	1024	亜細亜大	1202	駿河台大	1233	東北福祉大	1264	流通経済大	1295
東京大	1025	石巻専修大	1203	成蹊大	1234	東北文化学園大	1265	早稲田大	1296
東京外国語大	1026	茨城キリスト教大	1204	成城大	1235	東北医科薬科大	1266		
東京学芸大	1027	桜美林大	1205	聖徳大	1236	東洋大	1267		
東京農工大	1028	大妻女子大	1206	専修大	1237	常磐大	1268		
東京工業大	1029	学習院大	1207	仙台大	1238	獨協大	1269		
その他の大学	1000	短期大学	4000	(高等) 専門学校	5000	高等学校	6000		

※大学院の場合は、大学のコード番号の千の位の数字を2に置き換えて記入してください。

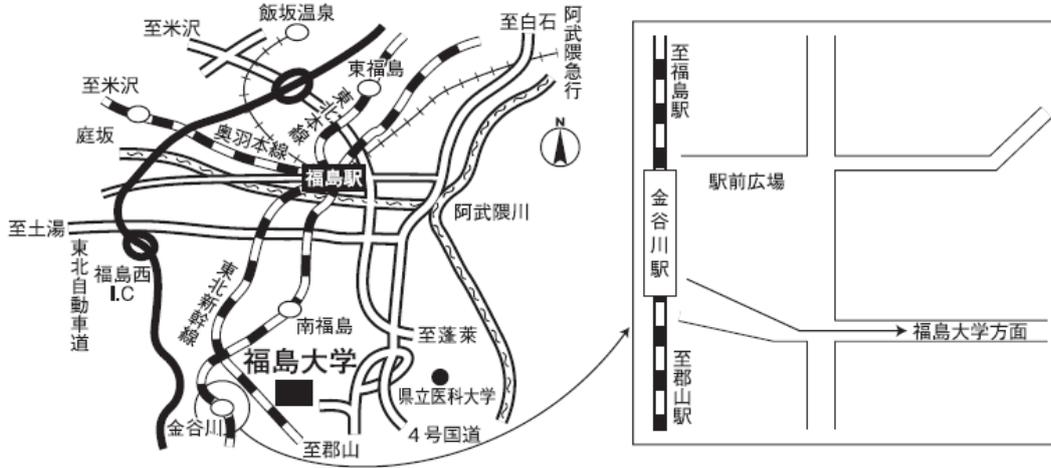
別表2 学部・学科コード番号表

<b>◎教養学部等</b>		<b>◎社会科学系学部</b>		<b>◎理工学系学部</b>		<b>◎教育・体育系学部</b>	
教養学部	101	法学部	121	工学部	141	教育学部	161
学芸学部	102	経済学部	122	理工学部	142	体育学部	162
情報学部	103	経営学部	123	理学部	143	人間発達文化学類	163
(総合)人間科学部	104	商学部	124	科学技術学部	144		
文理学部	105	社会学部	125	工学資源学部	145	<b>◎福祉・保健系学部</b>	
環境(科)学部	106	国際学部	126	共生システム理工学類	146	(社会、総合)福祉学部	171
		政治経済学部	127	コンピュータ理工学部	147	医学部	172
		公益学部	128			薬学部	173
<b>◎人文科学系学部</b>		総合政策学部	129	<b>◎農学系学部</b>			
人文学部	111	行政政策学類	130	農学部	151	<b>◎その他</b>	
文学部	112	経済経営学類	131	園芸学部	152	家政学部	181
外国語学部	113	行政社会学部	132	水産、海洋学部	153	芸術学部	182
心理学部	114			食産業学部	154	その他の学部・学科	100
				生物(産業、資源科)学部	155		
				獣医学部	156		
				食農学類	157		

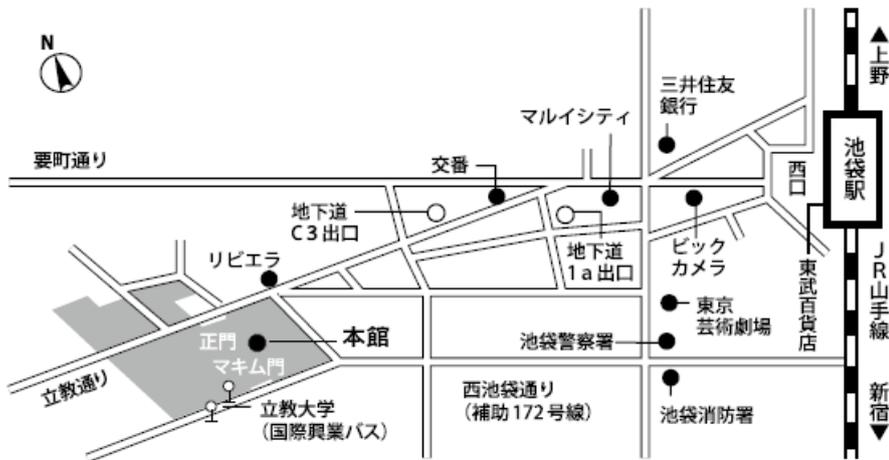
※大学院の場合は、学部・学科コードの百の位の数字を2に置き換えて記入してください。

## 試験場までの略図と交通機関

- 福島会場（福島大学：福島市金谷川1）
  - ・ J R東北本線金谷川駅から約0.8km 徒歩10分
  - ・ 福島交通バス 福島駅東口発二本松方面行き  
福島大学停留所下車すぐ



- 東京会場（立教大学：東京都豊島区西池袋3-34-1）
  - ・ 立教大学池袋キャンパス本館
  - ・ J R池袋駅西口から徒歩約7分



- ※ 試験当日は、試験場には駐車できません。公共交通機関をご利用ください。
- ※ バスを利用される方は、事前に時刻をご確認ください。
- ※ 試験場、周辺路上及び付近の店舗等での駐停車による送迎は、近隣の迷惑となりますので絶対に行わないでください。

■この試験に関する問い合わせ先  
**福島県人事委員会事務局採用給与課**  
 〒960-8681 福島市杉妻町2-16  
 (福島県庁西庁舎4階)  
 ☎ (024) 521-7590 (直通)

ふりがな	
氏名	

「アピールシート作成上の注意」を参照して作成してください。

福島県職員（大学卒程度）・行政事務（先行実施枠）アピールシート（表）

生年月日	年齢 (今年4月1日現在)	受験番号 (記入不要)	
平成 年 月 日生	歳		

最終学歴	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高専 <input type="checkbox"/> 短大 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> その他 (                      )	年 月 <input type="checkbox"/> 卒業 <input type="checkbox"/> 卒業見込
	学部学科 (研究科) 専攻等	

職歴	勤務先	職務内容	期間
			年 月～ 年 月

資格	名称	取得年月日
		年 月 日
		年 月 日

就職の意向	福島県の志望順位	<input type="checkbox"/> 第1志望 <input type="checkbox"/> 第2志望 <input type="checkbox"/> その他 (                      )		
	併願先 (予定を含む)	公務員試験	試験名	<input type="checkbox"/> 合格 <input type="checkbox"/> 未発表
			試験名	<input type="checkbox"/> 合格 <input type="checkbox"/> 未発表
		民間企業等	業種	<input type="checkbox"/> 合格 <input type="checkbox"/> 未発表
			業種	<input type="checkbox"/> 合格 <input type="checkbox"/> 未発表
	その他			

志望動機（400字程度）  
 あなたが福島県職員を志望する理由について、具体的に記入してください。

(裏面に続く)

ふりがな	
氏名	

福島県職員（大学卒程度）・行政事務（先行実施枠）アピールシート（裏）

自己PR

1から3について記入してください。各項目の行数を変更することは問題ありませんが、全体でこのページ内に収まるようにしてください。

1 自己紹介（自分の人柄、長所などについて、記入してください。）

2 あなたがアピールしたいこれまでの活動や経験について、具体的に記入してください。

3 2の経験等から培った能力等を福島県行政のどのような分野において、どのように活かしていきたいかを具体的に記入してください。

## 《アピールシート作成上の注意》

- アピールシートは、福島県人事委員会のホームページより様式をダウンロードして作成のうえ、受験申込時に電子申請に添付してください。提出がない場合は、第1次試験を受験できません。
- 第2次試験（口述試験）の参考資料となることに留意して、必ず本人が作成してください。
- 第2次試験の個別面接（1回目）において、アピールシートに基づき3分程度のプレゼンテーションを行っていただきます。アピールシート以外の資料等の持込みは認めません。
- パソコン、手書きのどちらで作成しても構いませんが、手書きの場合でもPDFの形式に変換し、受験申込時に電子申請に添付してください。
- 提出時のファイル形式は、Microsoft社製のWord（拡張子が「.doc」又は「.docx」のもの）若しくはAdobe社製のPDF（拡張子が「.pdf」のもの）に限ります。
- 様式は変更しないでください。各項目の行数を変更することは認めますが、表面で1ページ、裏面で1ページに収まるように作成してください。また、枠外には記入しないでください。
- パソコンで作成する場合、文字の大きさは12ポイントとしてください。
- アピールシート内に自身の学歴に含まれる学校名は記入しないでください。
- 提出されたアピールシートの内容変更や差替えは認めません。
- 設問の内容に関するお問い合わせには、一切応じません。
- 記載した内容に虚偽・不正があることが判明した場合には、採用されません。

受験番号		ふりがな	
		氏名	

福島県職員（大学卒程度）・土木（先行実施枠）専門性確認シート

「専門性確認シート作成上の注意」を参照して作成してください。

- 1 専門分野（特に力を入れて取り組んだ分野）において、これまで取り組んできたことと、その知識や経験を活かして、今後、県職員として取り組んでみたいことについて、あなたの考えを具体的に記述してください。（表現方法は自由）

専門分野（特に力を入れて取り組んだ分野）		※⑩その他を選択した場合、内容を簡潔に記載すること。 ( )

- 2 1で選択した分野以外で「得意又は興味がある分野」を2つ選択（必須）してください。

得意又は興味がある分野		
	※⑩その他を選択した場合、内容を簡潔に記載すること。 ( )	

## 《専門性確認シート作成上の注意》

- 専門性確認シートは、福島県人事委員会のホームページより様式をダウンロードして作成のうえ、第1次試験日に持参し、受付で提出してください。提出がない場合は、第1次試験を受験できません。
- 第2次試験（専門性確認のための個別面接）の参考資料となることに留意して、必ず本人が作成してください。
- 1及び2の分野は下表から選択してください。「⑩その他」を選択した場合は、内容を簡潔に記載してください。

①地形、地質、土質	⑥河川、砂防
②構造、材料	⑦海岸、港湾
③水理	⑧都市及び都市計画、交通
④測量	⑨環境、衛生、下水道
⑤道路	⑩その他

- 第2次試験の専門性確認のための個別面接において、専門性確認シートに基づき3分程度のプレゼンテーションを行っていただきます。また、1及び2で選択した分野等から質疑応答を行います。
- プレゼンテーションは専門性確認シートのみにより口頭で行うこととし、他の資料等の持込みは認めません。
- パソコン、手書きのどちらで作成しても構いません。
- 様式は変更せず、1ページに収まるように作成してください。
- パソコンで作成する場合、文字の大きさは12ポイントとしてください。
- 文章だけではなく、図や表を用いて作成していただいて構いません。
- 専門性確認シート内に自身の学歴に含まれる学校名は記入しないでください。
- 提出された専門性確認シートの内容変更や差替えは認めません。
- 設問の内容に関するお問い合わせには、一切応じません。
- 記載した内容に虚偽・不正があることが判明した場合には、採用されません。